

住宅用火災警報器

10年経ったら取り替えましょう。

住宅用火災警報器は、10年を目安に交換することを推奨します。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなる
ことがあるため、交換が必要です。

10年を目安に取り替えをお勧めします。

- 1 住宅用火災警報器を設置したときに、設置年月日が記入されていれば確認をしてください。
設置年月日がない場合は、本体の製造年月日を確認してください。
新しい住宅用火災警報器に交換したら、本体の見やすいところに設置年月日を記入しまし
よう。



- 2 定期的に電池切れや故障がないか作動確認をしましょう。
ひもを引く、またはボタンを押して作動確認をしましょう。
定期的にご家族で、火災警報器の音を聞いて確認をしましょう。
音声または音がしない場合は、電池切れか故障ですので交換しましょう。

※ご注意ください。

- (1) 火災警報器によって細かい注意点が違う場合がありますので、取扱説明書を必ず確認し
てください。
- (2) 作業をするときは、高い場所となるため足場等の固定に十分に注意してください。

住宅用火災警報器は、10年たったら取り替える。

我が家と家族を守るための基本です。

